

週日の説教

金 大烈 神父 2009年4月2日(木)

《イエス様がくださる永遠の命を確信しましょう》

先週の日曜日のミサで、価値についての話しをしましたね。その時、絶対的な価値とは何であると話しましたか、覚えていますか。

今日の福音(ヨハネ8・51 - 59)に出ていますね。それは、"永遠の命を得ること" です。

カトリック信者になった方々に行ったアンケートがあります。

<あなたは、なぜ信仰を持ちましたか>という質問です。

- 1 番、心の平安のために。
- 2 番、人間の関わりを味わうために。
- 3 番、永遠の命を得るために。
- 4 番、社会的な関わりによって仕方なく。

この中で一番たくさんの人々が選んだものは、1番の心の平安でした。

心の平安が動機になって教会に足を運んだことは理解します。しかし、洗礼のために一年間勉強をして洗礼を受け、信仰の生活をする人ならば、そのような答えでは失敗です。私たちが選ばなければならないのは、"永遠の命" です。"永遠の命を得ること" を深刻に考えずに、気軽に、教会に行けば心の平安を得られるからミサが大好きだ、くらいの答えでは、信仰とは言えません。お寺に行っても心は落ち着きます。そして感傷的な話を聞こうと思うならばテレビ番組にも涙が自然に出てくるようなものがたくさんあります。

この世のことを考えるだけではなく、それを超えて永遠に絶対的な価値を考え求め、そしてそのような生き方をしようとする心が信仰ではないかと思えます。

今日、イエス様はこのようにおっしゃいましたね。

「はっきり言うておく。わたしの言葉を守るなら、その人は決して死ぬことがない。」(ヨハネ8・51)

お葬式のミサや大きな病気にかかったとき、また自分が愛する誰かが倒れたときには、死について、そして永遠の命についてもっと深く深刻に考えるかもしれません。しかし、そのときになって考えるのでは、手遅れでもったいない気がします。私たちは、いつでも、この世を明るく楽しみに生きなくてはなりません。しかし、無意識の中では、いつか私たちが行かなくてはならない世界を頭に置き、いつも考えなければならないと思えます。

このような説明をした後、「あなたは、イエス様によって永遠の命を得ることを確信しますか。」と質問すると、信じます と答えられると思えます。しかし、何も無いふつうの信者の方に質問すると、頭をかしげる人がほとんどです。確信している顔を見せる人は少ないです。

これが私たちの今の姿ではないかと思えます。しかし、皆様、イエス様の言い方を借りてははっきり申しあげます。私たちの信仰の価値は、永遠の命です。それが絶対的な価値です。その絶対的な価値のために愛することも、施しも、犠牲も、自然にするべきです。

今日の福音をとおしてもう一度考えてみましょう。イエス様がくださる永遠の命について、どのくらい心の中で確信を持っているのでしょうか。もし確信を持っているならば、ある程度いろいろな恐れから開放されると私は信じます。

ありがとうございました。